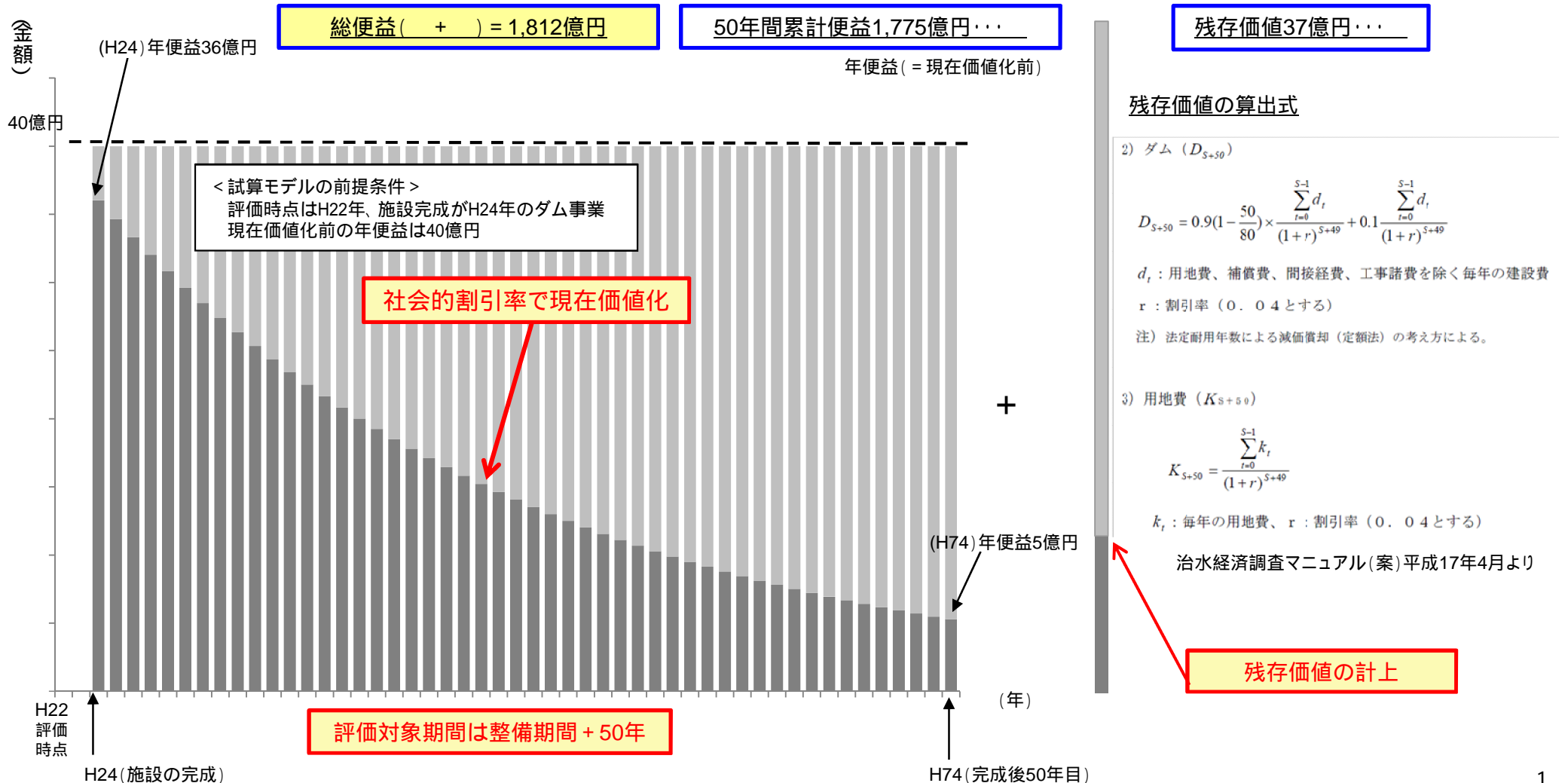


長期効用資産に係る評価手法について

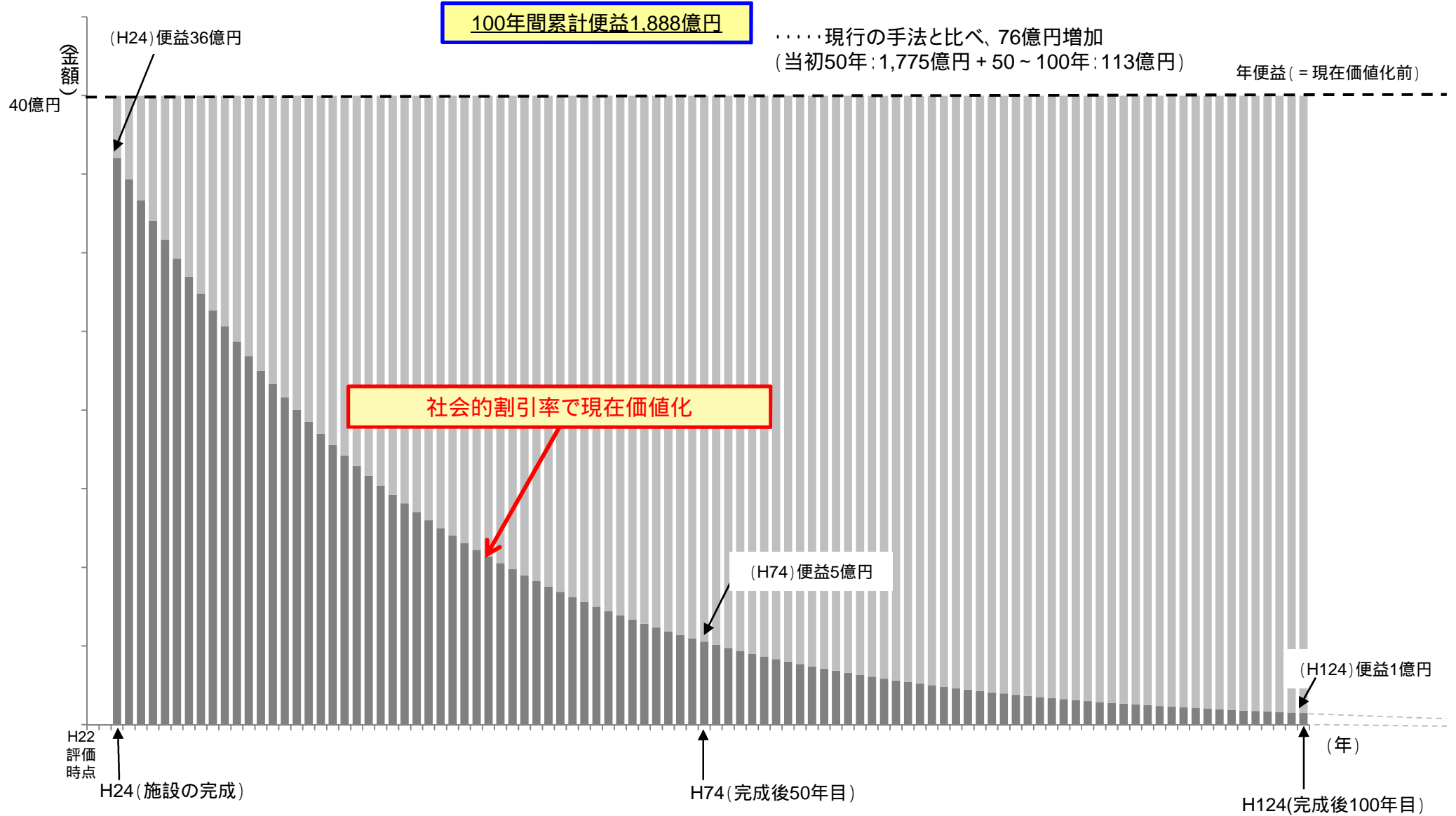
3 - 1 . (1) 長期効用資産に係る現行の評価手法

評価対象期間(整備期間 + 50年)の各年の便益(現在価値化後)の総和に、評価期間最終年の残存価値(法定耐用年数による減価償却の考え方により算出した上、現在価値化)を加算し、総便益を算出
 便益算定の基礎となる流域の資産状況は評価時点から不変と想定



3 - 1 . (2) 長期効用資産に係る現行の評価手法

評価対象期間(整備期間 + 50年)以降における便益を試算してみると……



3 - 2 . (1) 耐用年数を超えて機能発揮している施設

ぬのびきごほんまつ

事例：布引五本松ダム（兵庫県神戸市）

日本最初の本格的な重力式コンクリートダム（1900年完成）
平成7年の阪神淡路地震においてもほとんど被害は無く、現在も水道専用ダムとして使用

完成から約110年経過



(参考) 堤体コンクリートコア調査結果



約50年管理している丸山ダムの堤体コンクリートコア調査結果では、建設当時の強度を確保しており、劣化は認められないと判断。

しんげんつつみ

事例：信玄堤（山梨県甲府市）

天文11年（1542年）の大水害の経験から甲府盆地の開発と安定した土地の利用のため、信玄公は釜無川と御勅使川の河川改修に着手
永禄3年（1560年）の完成から長きにわたり洪水を防いできている

完成から約450年以上経過



3 - 2 . (2) 耐用年数を超えて機能発揮している施設

事例：^{さやまいけ}狭山池（大阪府狭山市）

日本最古のダム形式のため池
昭和61年から16年間をかけ、それまで主に灌漑（かんがい）用のため池として利用されていた狭山池が、洪水を調節する機能を持った治水ダムに生まれ変わった

完成から約1,400年経過



工事前の狭山池



工事後の狭山池

事例：^{とねがわとうせんじぎょう}利根川東遷事業

利根川東遷事業は、文禄3年（1594年）から60年の歳月をかけて承応3年（1654年）に完了
東遷の工事は、当時栗橋付近から江戸湾に流れていた利根川の流れを東に移し、台地を切り通して赤堀川としたほか、常陸川と多くの湖沼を結びつけて銚子に流すもの

完成から約350年以上経過

